

ちばさぽ からの お知らせ

■千葉市民活動フェスタ実行委員募集

11月14日(土)15日(日)にきぼーるで開催予定の「千葉市民活動フェスタ2020」に向けて実行委員を募集します。関心のある方は、ぜひご協力ください。登録団体の方、ボランティアや市民活動に興味のある方、皆様のご応募をお待ちしています。

募集人員▶10名程度

任期▶2020年11月まで 報酬▶なし

開催日時▶月1回程度、平日の19:00~20:30を予定

開催場所▶千葉市民活動支援センター

応募方法▶応募したい旨、センターまでご連絡下さい。

応募用紙をメール・FAXにてお送りします。

応募締切▶2020年6月16日(火)



■運営協議会の委員募集について

センターを市民の皆様にとって有益な施設にするため、また市民活動を活性化させるため、センターの運営に関するご助言やご提案等をいただく「運営協議会」を設置しています。昨年度は、「市民自治によるまちづくり条例」の勉強会を企画したり、「企業との連携」をテーマとした部会を設置して活動したりと、新たな取組も行いました。

今後ともこうした取組を継続しつつ、これまで以上に「創造的な会」にすべく、現在、2020年度の運営方針を検討中です。新型コロナウイルスの収束の見通しが立たないため、会議の日程は未定ですが、募集の詳細が決まり次第ホームページ等でご案内しますので、ご注目ください！また、ご関心のある方はセンター宛て「運営協議会委員へ応募希望」の旨ご一報いただければ、個別にご連絡いたします。



■プレゼンテーション講座～プロから学ぶ実践講座～

聞き手に正しい情報を示し、興味を引き出すプレゼンテーションとは、どんなものでしょうか？経験豊かな講師のお話から、わかりやすく効果的なプレゼンテーションのコツを学びましょう。

日時▶2020年6月22日(月) 13:30~16:30

会場▶中央保健福祉センター ボランティア活動室1・2
(千葉市中央区中央4-5-1 きぼーる15階)

講師▶三谷新太郎さん
(三谷教育研究所代表)



定員▶20名(申込先着順) 参加費▶無料

■まちなかボランティア養成講座(略称:まちボラ) 誰でもどこでも、気軽にボランティア

私でもできるの?とお思いの方に、気軽に取り組める「ボランティアはじめの一步」の講座です。まずは「講義」でコミュニケーションの仕方、千葉の情報についてなど基本的なことを学び、その後イベント等で、実際に外国の方や障害のある方に接する「実習」を2回体験します。公的資格にはなりません、「修了証書」やバッジ等がもらえます。誰もができるボランティア。「お手伝いしましょうか?」がスムーズに言えるようになるヒントを、この講座から見つけてください。中学卒業以上の方ならどなたでも受講できます。



日時▶2020年7月5日(日) 13:30~17:00(講義)

会場▶YSビル5階多目的室(千葉市中央区中央3-9-13)
千葉劇場そば三恵シティホテル隣

定員▶30名(申込先着順) 参加費▶無料

○お申込み方法(全ての事業共通)

千葉市民活動支援センターまで、メール、FAX、TELにて、以下の項目をご連絡ください。

- ①事業名、②お名前、③ご住所(市区町村名まで可)、④連絡先(電話またはメール)、⑤所属団体(あれば)

※新型コロナウイルスの影響により、講座が中止・延期になる場合があります。ご了承ください



「聞く?聴く?訊く? ヒアバイライト」という考え方

傾聴の講座は多数開かれています、ここで取り上げるのは「ヒアバイライト(hear by right)」。あわてて読むと「権力をカサに上から言わせる」と誤解しそうですが、これは「相手を権利の主体者と認めながら、その意見を聞く」という意味です。子どもや若者の「まっすぐな心」「夢見る力」を活かし、彼らの社会参画で社会を

変えていこうというもの。社会のひずみをまともに受けしてしまう子どもや若者を「なんとかする」のではなく、彼らを中心に社会を捉え直すというのがヒアバイライトの理念です。

参考になる本も出ています。始まりはイギリス。口減らしに、また安い労働力として、使い捨てのように扱われていた貧困層の子どもを、人権をもつ存在として考えるようになった歴史的背景から、我が国の取り組みなど、具体例や参考文献も紹介されています。

編集後記

■#stayhomeの中作り上げている通信です。皆様のお手元に届く頃には、落ち着いている事を望みます。(な) ■桜の開花後に雪が降ったり、この春は気温の変動が大きかったですね。でも、おかげで体調管理を徹底できて、元気に過ごしています!(は) ■新しい年度になったので決算すべく伝票を整理中、もっとコツコツやっておけばよかったと、後悔の日々(か) ■2020年の春は、様々なことについてあらためて見つめ直してみる貴重なきっかけとなりました。(さ) ■新型コロナ対応でテレワークや時差通勤。「なんんだ出来たじゃない」と思うコトが沢山あるので、社会が大きく変わる気がします。(や)